

【注意】発行当時の原稿をそのまま掲載しております。農薬について記載のある場合は、最新の農薬登録内容を確認し、それに基づいて農薬を使用して下さい。また、成果情報によっては、その後変更・廃止されたものがありますのでご注意下さい。

[成果情報名] たらのき品種「春かおり」1年生株の促成収量および収益性

[要 約] たらのき品種「春かおり」は、「蔵王」に比べて穂木の生育が旺盛なため、植え付け1年目の穂木の促成収量は「蔵王」よりも多く、1月下旬に促成を開始すると、商品収量68kg/10a、粗収入は247千円/10a程度が見込まれる。また、「春かおり」の育苗に掛かる費用は32千円/10aと「蔵王」よりも高いが、「蔵王」以上の収益性が見込まれる。

[部 署] 山形県最上総合支庁産業経済部農業技術普及課・産地研究室

[連絡先] TEL 0233-22-2201

[成果区分] 普

[キーワード] たらの芽、たらのき、春かおり、1年生株

[背景・ねらい]

本県の促成たらの芽は、主に「蔵王」を栽培して生産されているものの、定植1年目は生育量が少なく、1年生株の穂木は促成にはほとんど用いられてこなかった。一方、最上産地研究室において育成した、たらのき品種「春かおり」は、定植1年目から生育が旺盛なことから、1年生株の促成収量と収益性を明らかにする。

[成果の内容・特徴]

- 1 「春かおり」は、慣行の「蔵王」よりも定植後の生育が旺盛で、1年生株の穂木は「蔵王」に比べ全長、重量、節数いずれも上回る(表1、表2、図1)。
- 2 「春かおり」は「蔵王」よりも促成収量が多く、収益性の高いLM品割合も高い(表3)。
- 3 「春かおり」は商品収量、粗収入ともに1月下旬促成開始が最大となり、それぞれ68kg/10a、247千円/10a程度が見込まれる(表3、表4)。
- 4 育苗コストは、32千円/10aと「蔵王」よりも高いが、「蔵王」以上の収益性が見込まれる(表5)。

[成果の活用面・留意点]

- 1 本成果は平成29年度単年度の試験に基づく成果である。
- 2 根挿しは2月に行い、9cmポリポットに鉢上げ、育苗し、霜害の心配のない5月下旬に定植した。
- 3 1年生株の穂木は、経年生株の穂木に比べて乾燥による影響を受けやすいため、1月に促成を開始するのが望ましい。
- 4 関連する既往の成果
平成11年度 「たらのきの育苗法」

[具体的なデータ]

表1 秋期の生育(9月8日) 5株2反復調査^z

品種	主茎長 (cm)	茎径 (mm)	節数 (節)
春かおり	173	27	21.1
蔵王	126	26	16.4

z: 蔵王は5株1反復調査。

表2 収穫穂木の特性(11月14日) 各区10株2反復調査^z

品種	全長 (cm)	節数 (節)	芽数 (芽)	茎径 (mm)	重量 (g)
春かおり	122.9	17.6	17.6	26	622
蔵王	90.9	13.6	13.6	23	346

z: 蔵王は10株1反復調査

表3 促成時期毎の商品収量

各区穂木3本調査^z

促成日	収穫時期	品種	総収量 (g/穂木)	総収穫 個数 (個/穂木)	商品 収量 (g/穂木)	商品 個数 (個/穂木)	商品 割合 (個数%)	階級別商品個数 ^y (個/穂木)				LM割合 (個数%)	10a換算 商品収量 (kg/10a)
								L	M	S	2S		
1月22日	2/8~14	春かおり	112.5	16.3	81.4	10.7	65	4.7	4.3	1.7	0.0	84	68
		蔵王	53.5	10.7	48.9	9.3	87	0.0	1.3	7.7	0.3	14	49
2月21日	3/8~14	春かおり	89.4	13.7	48.9	7.0	51	2.0	2.7	2.0	0.3	67	41
		蔵王	49.2	10.3	22.6	4.3	42	0.0	1.0	3.0	0.3	23	23
3月14日	4/1~5	春かおり	67.1	11.7	39.8	6.3	54	0.3	3.0	2.7	0.0	56	33
		蔵王	53.1	12.5	27.0	6.0	48	0.0	0.5	3.5	2.0	8	27

z: 蔵王の3月促成は穂木2本調査。 y: 2Lの収穫は無し。

表4 10a当たりの階級別パック数及び粗収入

促成日	品種	階級別パック数 ^z (個/10a)					階級別粗収入 ^y (円/10a)				
		L	M	S	2S	合計	L	M	S	2S	合計
1月22日	春かおり	555	361	93	0	1,009	140,499	88,798	18,326	0	247,623
	蔵王	0	111	426	17	554	0	27,322	84,300	2,534	114,156
2月21日	春かおり	238	222	111	17	589	68,544	64,641	25,212	2,881	161,278
	蔵王	0	83	167	17	267	0	24,240	37,818	2,881	64,939
3月14日	春かおり	40	250	148	0	438	12,614	78,719	36,134	0	127,466
	蔵王	0	42	194	104	340	0	13,120	47,425	18,743	79,288

z: 2Lの収穫は無し。 y: JA全農取引における平成23~29年の時期別階級別平均単価を使用。
(1月促成→2月単価、2月促成→3月単価、3月促成→4月単価)



図1 収穫穂木 蔵王(左) 春かおり(右)

表5 根挿し育苗における育苗コストと収益性 (2月15日挿し 3株平均)

品種	根挿し数 (個/株)	鉢上げ数 (個/株)	成苗数 (個/株)	10a当たり 育苗コスト ^z (円)	粗収入 (円)	粗収入ー 育苗コスト (円)
春かおり	282	37	19	32,007	247,623	215,616
蔵王	267	60	34	27,946	114,156	86,210

z: 償却期間は5年で試算した。
育苗コストの内訳は、小農具費、諸材料費、光熱費

【栽培概要】

- (1) 試験ほ場：最上産地研究室（新庄市角沢）
- (2) 根挿し：2017年2月(育苗箱、パーミキュライト)
- (3) 育苗：9cmポリポット、育苗培養土：ポットソイルAタイプ・野菜培土1号
- (4) 定植：2017年5月30日(半高うね、黒マルチ)
- (5) 施肥(成分 kg/10a) N: P₂O₅: K₂O=10.0:8.0:10.0
- (6) 栽植距離 畝幅：200 cm、株間：「春かおり」60cm、「蔵王」50cm
- (7) 穂木の収穫：2017年11月14日 (収穫の際、穂木当たり「蔵王」は2芽、「春かおり」は2年生株を2本仕立てにすることを考慮し、3芽残して収穫した。)
- (8) 穂木の保管：穂木は収穫後、10本程度毎にまとめて、乾燥網室で立てて保管した。
- (9) 促成方法：切断した駒木を6時間浸漬処理して伏せ込み、初めの3日間は20℃一定、その後は15℃一定を目標に管理した。
促成床の水は、加温後3日目、5日目に交換し、その後は7日間隔で交換した。
- (10) 促成開始日と収穫期間：1月促成 2018年1月22日(2月8~14日)、2月促成 2月21日(3月8~14日)
3月促成 3月14日(4月1~5日)

[その他]

研究課題名：たらの芽新品種「春かおり」の早期多収栽培技術の確立

予算区分：県単

研究期間：平成29年度(平成29~32年度)

研究担当者：新關瑛莉子、長谷川耕太、荘司善守

発表論文等：なし